

ベーゼンドルファー 280VC ピラミッド・マホガニーの 未知のポテンシャルを感じ、 「怪物くん」と呼んでいます

久元祐子さん

Bösendorfer Artist Yuko Hisamoto

日本で唯一のベーゼンドルファー・アーティスト、久元祐子さんのためにウィーンで制作された(280VCピラミッド・マホガニー)が完成し、日本に届きました。オンリーワンの名器への想い、今後の抱負などをうかがいました。



ピラミッド・マホガニーで
覆われた美しい逸品

「ピラミッド・マホガニーの木目を活かした美しいピアノが誕生した経緯をお話ください。」

これまで、創設者が制作した世界最古のベーゼンドルファー(1829年製)、ヨハン・シュトラウスモデル(1911年製)、290インペリアル(2011年製)などを愛用し、多くのベーゼンドルファーを弾いてきました。それらには時代を超えて受け継がれてきた強いコンセプトが貫かれています。温かな響きで語り、歌い、心に寄り添ってくれる。それが、私がベーゼンドルファーに惹かれる理由です。

そして、2016年に登場した280VCは、長年培ってきた木の温もりを感じさせる深く美しいウィーンナートーンの伝統を受け継ぎながら、敏捷さとパワーを併せ持ち、新しい時代のニーズに応える楽器だと感じています。オーストリアのアルプス山脈で新月の晩に伐採される樹齢90年の木々。それら

5年の歳月をかけて自然乾燥した後、時間をかけて制作されていくベーゼンドルファー。周りには、美しいピラミッド・マホガニーで覆われ、ピアノのボディから木のエネルギーがあふれだすかのよう。響板から豊かで気品に満ちた響きが伝わり、幸せな空間に導いてくれます。はかりしれないポテンシャルに期待が膨らみ「怪物くん」と呼んでいます。

「何度もウィーンの工房に足を運んで、細部にわたって打ち合わせ、作り上げた楽器だそうですね。」

工房の各セクションの職人さんたちとも顔馴染みになり、訪れるたび温かいスマイルで迎えてくださいます。先祖代々制作に携わっているような方もいらして、オーストリア皇帝御用達の頃からの長い歴史を感じます。理想の音色について語り合い、楽器の心臓部とも言えるアクションのこと、打鍵後の返り、そして全体の木目模様に至るまで細やかに議論を重ね、制作を進めていただきました。



鍵盤横のプレートには、ドイツ語で「この280VCはベーゼンドルファー社一同心を込めてピアニスト久元祐子のために制作しました。」と書かれています。

ウィーン工房では、制作のプロフェッショナルであると同時に、素敵な演奏をする方もいらつしやいます。遠くでその音を聴きながら、ピアノニッシモの美しさ、倍音とともに響く豊かさを実感しました。

リサイタルでお披露目

「昨年は日壤友好150年の記念イベントでも、ベーゼンドルファーをお披露目になりました。」

大統領が来日された際、「タリムト・モデル」「黄金のアデーレ」でウィーン・ワルツを演奏させていただきました。大統領はチャイミングなお人柄で、「僕もモーツァルトやバルトークが大好きで、子どものころは弾けたんだけど……。」とモーツァルトのKV545のソナタを弾かせていただくと「それ!!」と微笑んでくださいました。

「280VCピラミッド・マホガニー」のお披露目は、今年11月12日、紀尾井ホールでのリサイタル。ベートーヴェン生誕250周年を記念して、モーツァルトとベートーヴェンを関連づけたプログラムを聴かせてください。ベートーヴェンはモーツァルトに憧れ

Concert Information

久元祐子 ピアノリサイタル

2020年11月12日(木)
開演19:00(開場18:30)
紀尾井ホール
全席自由 一般4,000円
学生2,000円

*チケットは4月1日発売開始

お問合せ
プロ アルテムジケ
03-3943-6677
info@proarte.jp
www.proarte.jp

ていました。ウィーンに出てきて、モーツァルトの短調の世界、とくにハ短調の作品に影響を受けて、『ピアノ協奏曲第3番』や『ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」』を感じていただきたいと思っています。そして、後半はベートーヴェン『ピアノ・ソナタ第21番「ワルトシュタイン」』。恩人ワルトシュタイン伯爵に献呈されたこのソナタは、32曲の中でも最も充実した内容と漲るエネルギーを持っています。エーラーのピアノに触れ、広い音域、多彩な音色、ダイナミズムを活かし、自然

PROFILE

東京藝術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、日本人で唯一ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。これまでCD13作をリリース。『優雅なるモーツァルト』はレコード芸術特選盤、毎日新聞CD特選盤に選ばれ、『ベートーヴェン「テレーゼ」ワルトシュタイン』はグラモフォン誌上で高い評価を得る。国立音楽大学・大学院教授、日本ラトビア音楽協会理事、PTNA(全日本ピアノ指導者協会)評議員。
公式サイト
[http://www.yuko-hisamoto.jp/]



【取材】森岡 葉 【撮影】武藤 章 【取材協力】一般財団法人 セレモア文化財団